

M様邸 風呂・洗面室改装工事



風呂・洗面室改装工事をさせて頂きました。風呂や洗面室の壁は白を基調としたデザインにし、浴槽を黒、洗面を木目調にしたことでメリハリがつけました。大きい鏡を設置したり、洗面台を三面鏡にしたことで以前より広く感じられるようになりました。毎日使う場所なので、とても快適ですとコメントを頂きました。

K様邸 風呂改装工事



風呂改装工事をさせて頂きました。お風呂と廊下間の壁を壊し壁の位置を移動したことで浴室のスペースが広くなりました。浴槽にゆったりと浸かることができ今まで以上にリラックスして頂けるようになりました。



T様邸 IH・レンジフード取替工事



IH・レンジフード取替工事をさせて頂きました。ガスコンロからIHに取り替えたので火事などの心配が軽減されました。また、お掃除も楽になり夏場はIHとガスの熱気などの違いを感じて頂けると思います。薄型のレンジフードを設置したので以前よりスッキリとした印象になりました。

A様邸 カーポート新設・撤去工事



カーポート撤去・新設工事をさせて頂きました。以前のカーポートより、日差しが入るようになり明るくなりました。また、UVカットもしてくれます。以前より強度が増しているため雪や雨、風が強い日でも安心です。

I様邸 ベランダ屋根貼替工事



K様邸 トイレ取替工事



トイレ取替工事をさせて頂きました。新しいトイレに取り替えたことでスッキリした印象になり、元々のトイレより接合部や隙間が少なくなったのでお掃除が楽になりました。また、同じメーカーの商品に取替えたので使い勝手が変わらず快適にお使い頂けます。



寒さが身にしみる季節になりました。早いもので今年も締めくくりの月です。年の瀬を迎え皆さまいかがお過ごしでしょうか。12月といえば、お歳暮の手配 年賀状の準備 大掃除 カレンダー・手帳の用意 正月の準備と忙しい月となります。行事では、冬至・クリスマス・大晦日があります。そこで、今月号は、冬至・年越しそばについてご紹介いたします。慌しくなる時期ではありますが、楽しい年末をお過ごし下さい。

冬至とは



冬至は、二十四節気のひとつで、一年のうちで昼の時間が最も短い日です。今年の冬至は12月22日(土)となっています。この日は太陽が一年中で最も南に位置し、日本を含む北半球では太陽の高度が低くなるので日ざしは部の奥まで差し込みます。冬至を過ぎると、日ごとに昼が長くなっていくわけですが、寒さはこの頃から本格的に厳しくなります。日本古来の陰陽道の考え方に、夏は陽、冬は陰となり冬至が過ぎると日照時間が長くなっていくことから陰が弱まり陽が生じるという意味の「一陽来復(いちようらいふく)」とも呼ばれて、悪い事が続いていても良い方向へ向かう区切りの日と考えられています。

冬至の風習

冬至にかぼちゃ(ナンキン)を食べるといふ風習があります。昔は農業をして自給自足の生活を送っている人が多く冬の寒くて暗い時間が長い厳しい時期である冬至は『死に一番近い日』と、されていたので暖をとり夏から保存しておいた大切なかぼちゃを食べて厄払いとして新しい年へ無病息災を願ったのです。実は、その他にも冬至の風習の1つに「運盛り」というものがあります。古来から日本には季節の節目などにお供え物を飾る(盛る)風習があります。たとえば、ひな祭りには菱餅、十五夜には月見だんごといったものです。その風習のひとつに、冬至の七種と呼ばれる食べ物をお供えしていました。一見すると共通点が浮かびませんが、よく見ると「ん」という文字が2回ずつつく食べ物なのです。つまり、「ん=運」のつく食べ物をお供えしていたということです。最近でも、西日本、特に関西圏を中心に根付いている風習です。

年越しそばの起源

大晦日に「年越しそば」を食べる習慣は江戸時代に定着したと言われています。その起源は下記の3つです。
<延命・長寿祈願説>
 そばは細く長く伸びるので「長寿延命」「家運長命」などの縁起を担いで食べるようになり引越そばの「末永く宜しく」という意味にも通じます。
<金を集める縁起物説>
 金銀細工師が散らかった金粉を集めるために使っていたのがそば粉。そこから、「金を集める縁起物」「金運を呼ぶ」という意味合いが生まれ、新年の金運向上のために食されるようになったという説です。
<旧年の苦勞や借金を切り捨てる説>
 そばは切れやすいことから、旧年の苦勞や災厄をきれいに切り捨て新しい年を迎えることを願ったとする説です。「縁切りそば」「年切りそば」とも言います。借金を打ち切る意味で「借錢切り」「勘定そば」とする説もあり、この場合は必ず残さず食べなければいけません。

クリスマス飾りなぜ靴下？

サンタさんからのプレゼントをもらうために、枕元に靴下をつるしておくというイメージがありますが、ツリーのオーナメントや装飾グッズも靴下モチーフのものが多数あります。では、なぜサンタさんが靴下にプレゼントを入れてくれる、ということになったのでしょうか？
 これにはサンタクロースの起源となったストーリーと密接な関係を持った背景があるようです。サンタクロースの起源となったのは、聖ニコラウスの伝説。彼は4世紀ごろの東ローマ帝国は、小アジア南西部に位置するミラ(ミュラ)の、司教だった人物です。聖ニコラウスは、日頃から困った人や貧しい人を助け歩いた慈悲深い人物であったようです。ある日、彼は貧しさのあまりに三人の娘を売り飛ばすことを考えている一家を知ります。そして真夜中にその家を訪れ、金貨を投げ入れたのだそう。そのとき暖炉には靴下がさげられており、金貨がちょうど、その靴下の中に入っていた、ということから「サンタクロースが真夜中にプレゼントを靴下に入れていく」という習慣ができたようです。今こそクリスマスプレゼントの意味がまったく違いますが、大元はそんな人助けの伝説だったんですね。でも夢がある、という意味では今も同じ。きっと、子供たちの夢や願いを叶えようとするご家族は子供たちを喜ばせたい気持ちでいっぱいのままにサンタクロースですね！